

2024年 4月 30日

2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 みなさんの居場所「ぼくはぼく」.....

代表者・役職名 氏名 松並 朱.....

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

みなさんの居場所「ぼくはぼく」

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2021秋 障がいのある方ない方が触れ合える場づくりの必要性に賛同した地域の福祉・保育・関係者、保護者で設立。2022夏 みなさんの居場所「ぼくはぼく」コミュニティカフェをオープン。2023秋 常設の店舗に移転。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

差別や優生思想をなくしたい。
様々な場所で障がい者や、生きづらさを抱えている方々に対する差別や偏見がおきている。その原因は閉鎖的な空間や無知がそれを引き起こしていると考えます。そのために、開けた場所、触れ合える場所として開設し理解を広め深め、共生社会を実現する。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

・商店街の既存カフェを借り、金土日曜日17時半～20時半営業。→2023秋からは自店舗にて10時～20時営業。日曜日お休み。火曜日は商店街カフェにて11時～18時営業。
・飲食メニュー、弁当、お酒も揃えている。・月に一度ほど地域のイベントにも参加。
・小箱ショップ、レンタルスペースなども行う。・こども食堂も定期開催。
・ハンディある方ない方どうぞ、と掲げ、多様な方々を受け入れる姿勢を前面にだす。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

・商店街月約10万円、常設月約45万円の純利益。60+270=330 330万円÷@600円=5500人 延べ5500人の利用者数。
・商店街店舗の最終日には大勢の方が来店。惜しんでくださる声も多くあり地域に根差した実感あり。
・常設店舗には、障がい者、シニア、親子、LGBT、シングルマザー、若者、生きづらさを抱えている方々など多様な人々が来店し、予想以上の成果がみられる。
・町田市「アクティブ福祉 in 町田23」の地域活動部門で優秀賞受賞。新聞、ラジオ、地域情報誌、ヤフーニュースなどにも取り上げられる。
・こんな場所がほしかった、くつろげる、癒される、人との出会いの場所だね、などの多くのお声が日々あり。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

・計画よりもお弁当売り上げが少ない。
・経済的配慮が必要な方々が多く、安い価格設定にしている。
→来客は多いが、収益が伸びない。人件費がまったく出ていない。
→飲食など以外の収益事業を構想していく。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

